

入社式

令和3年度入社式が 開催されました



令和3年4月1日、社会福祉法人しんじゅは新たに2名（高校卒業生1名大学卒業生1名）の仲間を迎えました。コロナ禍ではありましたが、参加メンバーを絞り、開催時間も短縮するなど十分な感染症対策の上、入社式が開催されました。そんな今年の入社式の様子を紹介します。始めに、理事長からは、私たちが大切にしている企業理念のお話をして頂きました。その後新人職員への辞令交付役職員の紹介、両施設長からは新入職員へのアドバイスや新入職員に期待していることを話して頂きました。途中笑いもあり、終始和やかな雰囲気で行うことができました。

その後、新入職員の自己紹介があり、皆さん入職に向けた熱い意気込みを語ってくれました。最後はもちろん記念撮影！折角なので、撮影の時だけマスクを外してパシャリ！全員いい顔してます。これからの社会福祉法人しんじゅの新人職員の活躍をご期待ください。



《新入社員あいさつ》

〈梶 彩乃〉

今年の4月より入社し、ホーリーツリー西部に配属されました。梶彩乃です。私は5年前の介護実習でホーリーさんにお世話になって以来、ボランティア・アルバイトとして携わってきましたが、これからも大好きな利用者さまと同じ時間を過ごせることをとても嬉しく思います。皆さんがホーリーで過ごす時間を、より楽しく自由なものにしていけるよう、全力でお手伝いさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

〈松原 優紀〉

私の抱負は、様々な介助の時に利用者の方に安心して任せられるように介護技術を完璧にすることです。まだまだ不慣れなことがあり、トイレ介助では一人で介助することがまだ少し不安なのと、食事介助では利用者の方が喉を詰まらせないか心配があり、あまり出来ないこともあります。先輩の介助の動作を見て覚えたり、声かけなどをして一つ一つ気をつけながら介助するように頑張りたいです。

《各事業所紹介》

《相談支援事業所 ホーリー須磨》 相談員 田坪 直

ホーリー須磨の案内チラシが出来上がりました。昨年の初頭から続く、新型コロナウイルスの感染禍により、定期的に行われていた市内各区の相談支援連絡会や研修会が中止となり、チラシ配布の機会が少なくなっていますが、他市に比べ、セルフプランの方がまだまだ多い神戸市。

しんじゅ内の各事業所、区役所や支援センターを回り、周知に努め、ニーズの掘り起しをしていきたいと思ひます。そして、相談支援で大切にしている本人やご家族様から困り事や悩み事、将来にわたる希望や思ひをじっくりとお聞きします。コロナ禍の終息を祈ります。

《ホーリー離宮》 副主任 浜田 邦明

今年度離宮に新しく3名の利用者が、加入されました。医療ケアの必要な方々で、今まで以上に安全安心なデイサービスを目指し、スタッフ一同気を引き締め取り組んでいきます。

今後の予定、コロナ禍の中、利用者様のストレスも発散できない状態が続いており、少しでも、この状態を軽減できるようにスタッフがアイデアをだしながら利用者の皆さんが、喜んでいただけるよう、取り組んでいきたいと思ひています。



障害のある人・子どもたちのための

総合相談窓口 ホーリー須磨

セルフプランから計画相談(無料)へ。生活にバリエーションが生まれます！

障害福祉サービスって何があるの？

手続きはどうすればよいの？

お風呂に入れてあげたい

掃除・家事を手伝ってほしい

介護をするのに疲れた...

余暇を楽しみたい

まずはこんな時、相談支援事業所ホーリー須磨にお電話ください。

いろいろな障害福祉サービスのご紹介をします。

感謝

スタートラスチック工業株式会社
代表取締役社長 宮脇誠人様より令和三年八月五日
送迎車（シエンタ車椅子仕様）提供いただきました。

お知らせ

しんじゅ職員三名が、令和三年三月に資格を取得しました。
社会福祉士 梶 彩乃 介護福祉士 久山 明奈 介護福祉士 村山 裕子

《ホーリーツリー東部》 副主任 村木 香

今年4月より3名の新しい仲間を迎え、令和3年度をスタートしました。昨年に引き続き、コロナ禍で制限を強いられる中、感染防止対策を駆使しながら毎日楽しく過ごして頂けるようスタッフ一同は日々頑張っております。

外出もままならない為、お惣菜をテイクアウトし外食気分を味わったり、レクリエーションも密を避けて行えるように工夫しております。利用者様の笑顔に元気をもらいながら、"笑顔溢れるホーリーツリー東部"として皆様と一緒に頑張りたいと思ひます。今後共宜しくお願ひ致します。



計報

次の方が他界されました

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

泰中 美彦 様

ホーリーツリー東部の利用者 泰中

多田 愛翔 様

ホーリーツリー西部の利用者

泰中 美奈様のお父様

編集後記

新型コロナ禍で緊張の連続ですが、緊急事態宣言が解除されてほっとしたのも束の間、感染者数がまたまた上昇。不安の種は尽きません。そのような状況下での第二十九号の発行となりました。

令和三年六月は、社会福祉法人の役員・評議員の改選の時期に当たり、当法人も退任三名、新任三名と新しい布陣となりました。新任の方のお言葉も頂戴しました。

また、公益事業の二つ《絵画教室》《訓練教室》を特集し、来春の卒業生を含め参加を呼びかけることに致しました。同じく《ホーリー須磨（相談支援事業）》も同様です。本号は、通所事業・共同生活援助事業以外のしんじゅの取り組みを特集しました。

編集員一同